

令和7年度認知症サポーター養成講座

【日 時】令和7年5月22日（木）

午前10時から正午まで

【場 所】宮城県石巻合同庁舎 201会議室

【参加者】宮城県東部保健福祉事務所職員

【内 容】1 講義「認知症を理解する」

講師：石巻市介護福祉課職員

2 動画視聴「認知症とともに生きる」

（令和6年度認知症サポーター養成講座

若年性認知症当事者 丹野 智文 氏 講演）



内容詳細

1 講義「認知症を理解する」

- 石巻市の認知症事業担当職員から、認知症サポーターにできることや、認知症の症状や予防方法、使える制度等についてご講義いただきました。認知症当事者の意思や自尊心を尊重する接し方を心掛けることが重要だと教えていただきました。



2 動画視聴「認知症とともに生きる」

- 丹野氏の講演動画から、認知症当事者が安心できる環境を作るために「本人ができることを奪わないこと」や「認知症に備えた社会を作ること」が大切だと教えていただきました。
- 講演動画視聴後、動画『誰もが自分を生きられる社会を目指して』*を視聴しました。

* <https://www.youtube.com/watch?v=n6c3Vv4SjkQ>



アンケート結果（回答者計17人）

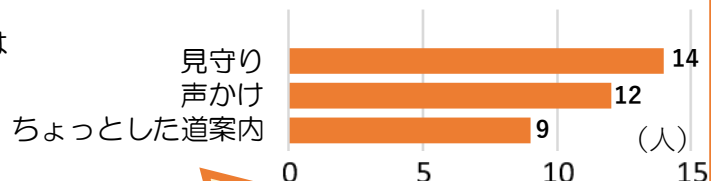
- 受講前後で認知症に関するイメージは変わりましたか？

9割以上の方が、イメージが「変わった」または「少し変わった」と回答されました。

【イメージが変わった理由】

- ・診断されたら、何もできなくなるのではなく、できることもたくさんあるのだと知った
- ・やれることは自分でやってもらうスタンスが本人にとっても周りにとっても大切なのだと分かった

- 認知症サポーターとしてできそうなこと



認知症サポーターは何かしなければ
ならない決まりはありません。
皆さんも、ぜひ、自分が出来そうな
ことから始めてみませんか。

感想

- ・認知症の理解度が深まるとともに、どういうふうに支えていくべきか、望ましい対応について学ぶことができたので、大変勉強になる時間でした。
 - ・認知症は話だけでは理解しがたく、動画があって良かったです。
 - ・自分事、というかまさにそれに近い身内を抱えている中で接し方の大きなヒントになりました。
- 今後も当講座を開催してほしいというご意見を多くいただきました。一人でも多くの方に認知症への理解や関心をもっていただけるよう、引き続き市町等と連携し、認知症の普及啓発に取り組んでまいります。